

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題1

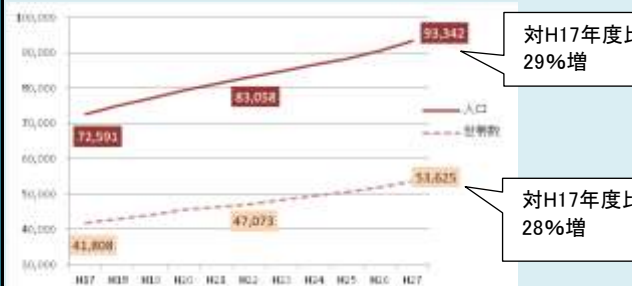
【地域コミュニティのさらなる活性化】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

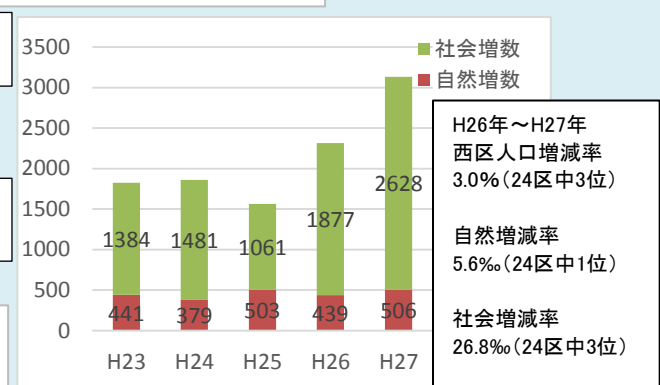
マンション住民や若い世代を含む区民の皆さんが自分たちのまちについて考え、行動できる環境が整っている
 ・誰もが参加し、「自らの地域のことは自らが決める」という意識のもと行われる地域活動協議会の様々な活動を通じて、活動の透明性を確保しながら生活課題等の解決に取り組む豊かなコミュニティが形成されている。
 ・地域活動に関わりが薄いといわれるマンション住民の皆さんが地域との交流を持ち、人と人のつながりのあるコミュニティあふれる住みよいまちとして自主的な地域運営が区内の全地域で実現されている。
 ・学校・家庭・地域・区等が連携し個性ある学校運営・開かれた学校づくりが進められ、区民が「人と人のつながりのなかで子どもたちが見守り育てられている」と実感できる。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【西区の人口・世帯数の推移】(各年度10月1日現在)



【西区人口の自然増・社会増数】



【平成25年住宅・土地統計調査】

住宅に占めるマンション比率が約93%（市内2位）
 1kmあたりの11階建以上の高層マンション住戸数5,600戸（市内1位）

【地域との関わりに関する区民アンケート】

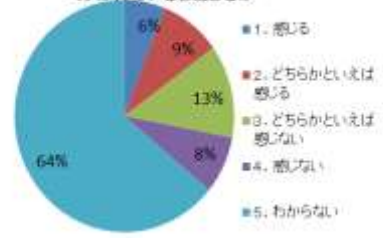


お住まいの地域では、地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などいろいろな団体が連携・協働して進められていると感じるか。



【学校に関するアンケート】

区内の小・中学校で個性ある学校運営が行われていると感じるか



要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

・マンション等の建設ラッシュにより急激に人口が増加していることを一因として、住民どうしのつながりが希薄になってきており、地域活動へのかわりや、参画のきっかけがわかりにくくなってきている。そのため、地域で活動している地域団体の情報が十分伝わっていない。
 ・小・中学校が個性ある運営ができていないかの問いに対しても、「わからない」との回答が64%を占めており、学校と地域とのつながりも希薄化してきている。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

・地域とのつながりづくりを支援することで、地域での活動内容や地域活動を行っている地域団体等を知ってもらい地域活動への参画を促す。
 ・小・中学校が個性ある学校として認知され、地域とのつながりを持てるための支援を行う。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

評価

めざす成果及び戦略 1-1 【地域活動協議会の活動支援】

| | | |
|----|---|--|
| 計画 | めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 地域活動協議会において地域の各種団体が連携・協働して、民主的で開かれた地域運営と会計の透明性を確保し、自律的に運営されている。 | 戦略<中期的な取組の方向性> ・地域活動協議会が活動の透明性を確保しつつ各地域の特色や課題、ニーズに応じ、自律的な地域運営を促進できるよう支援する。 ・地域活動に関心のある人たちが地域活動に関わりが薄かった人たちが活動できる機会や場の拡充、地域の人材と地域で求められている活動のマッチングなどのコーディネートを積極的に行う。 |
| | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 各地域で多様な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自らの地域課題に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合：平成29年度までに50%以上 ・多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合 平成29年度までに70%以上 ・地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材が活躍していると感じている区民の割合 平成29年度までに50%以上 | |

| | | | |
|------|-----------------|------------------------------------|------------------------|
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 個別 全体 | |
| | 戦略の進捗状況 | a：順調 b：順調でない | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | | | A：順調 B：順調でない |

具体的取組 1-1-1 【地域活動協議会の活動支援】

27決算額 22,268千円 | 28予算額 22,268千円 | 29予算額 22,268千円

| | | |
|----|--|--|
| 計画 | 取組内容 自律的な地域運営を積極的に推進するため、中間支援組織と連携し、次の取組を行う。 ・他の地域団体との連携や地域活動への住民の参加促進を支援する。 ・地域の資源が有効に活用され、各地域の特色や課題、ニーズに応じた支援を行う。 ・主体的に情報発信できるよう広報紙作成等の支援をする。 ・地域課題や活動等を各地域活動協議会間で共有できる場として、地域活動協議会会長連絡会(2回)と地域活動協議会情報共有会(2回)を開催する。 ・地域担当制の区役所職員が地域の実情やニーズ、課題を把握し、各関係機関等と連携を図りながら、地域活動を支援する。 | 業績目標(中間アウトカム) ・多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合：70%以上 【撤退基準】 ・上記目標が50%未満の場合、支援内容を再構築する。 前年度までの実績 平成28年度 ・中間支援組織を活用した勉強会開催及び広報活動に係る支援 ・地域活動協議会会長連絡会開催(2回) ・地域活動協議会情報共有会開催(2回) ・14地域活動協議会の活動状況について広報紙及びHPに掲載 |
|----|--|--|

| | | |
|--------|--|--|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定) |

| | | |
|------|--|---|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定) |

めざす成果及び戦略 1-2 【地域の特性に応じたコミュニティづくり】

| | | |
|----|---|--|
| 計画 | めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定> | 戦略<中期的な取組の方向性> |
| | 特に人口流入が多い地域において、住民同士が気軽に交流し、地域とつながることにより、孤立することなく日々の生活を安定して送りながら、地域活動にも積極的に参加している。 | 子育てや防災をきっかけとして、マンション内のコミュニティづくりを支援するとともに、マンション住民と地域をつなぐための支援を行う。 |
| | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支えあい」を実感している区民の割合：平成29年度までに50%以上 | |

| | | | |
|------|-----------------|------------------------------------|------------------------|
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 個別 全体 | |
| | | | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | 戦略の進捗状況 | a：順調 b：順調でない | |

具体的取組 1-2-1 【マンションコミュニティづくり】

| | | | | | | |
|----|--|---|-------|-------|-------|-------|
| | 27決算額 | 259千円 | 28予算額 | 214千円 | 29予算額 | 172千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） | | | | |
| | ・子育て世代のマンションに出向き、民生委員・主任児童委員など地域住民と協力しながら、マンションに居住する親子が集う「にっしー広場」を年12回以上開催するとともに、地域の活動につながる支援を行う。 ・出前講座（防災）や防災訓練等をきっかけに地域とのつながりや地域活動への参加を促し、地域とのコミュニティづくりを支援する。 ・各事業の参加者に対して、地域での様々な取り組みを紹介するとともに、地域行事への参加を促す。 | 各事業に参加して、マンション住民のコミュニケーションが必要と感じた人の割合：70%以上 | | | | |
| | | 【撤退基準】 上記目標が40%以下であれば事業手法を再構築する。 | | | | |

| | | |
|--------|--|--|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定) |

| | | |
|------|--|---|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | |
| | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定) |

めざす成果及び戦略 1-3 【教育コミュニティづくり】

| | | |
|----|---|---|
| 計画 | めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> | 戦略<中期的な取組の方向性> |
| | 情報共有による開かれた学校運営のためのシステム構築がなされ、保護者や地域住民などが積極的に学校に足を運び、教育活動のサポート、家庭教育支援などに円滑に取り組まれ、コミュニティがつけられている アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 各学校で個性ある学校運営が行われていると感じる保護者の割合：平成29年度までに80%以上 | ・学校における教育活動をサポートするため、開かれた学校運営を進める学校協議会の円滑な運営を補佐するとともに、「区教育会議」において区教育行政に関する保護者・地域住民の意見を聴取し区政に反映させるなど、保護者や地域住民の参加を得るためのシステムづくりと周知を進める。 ・こどもの生きる力をはぐくむために、学校・家庭・地域で連携した取組みを推進する。 ・地域コミュニティ活性化のため学校を中心とした地域で、あらゆる立場の区民が力を合わせて担う事業の取組みを支援する。 |

| | | | |
|------|-----------------|------------------------------------|------------------------|
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 個別 全体 | |
| | A：順調 B：順調でない | | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | 戦略の進捗状況 | a：順調 b：順調でない | |

具体的取組 1-3-1 【学校教育支援】

27決算額 3,269千円 | 28予算額 4,246千円 | 29予算額 4,484千円

| | | |
|----|--|---|
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） |
| | ・区内小中学校の実情を把握し、課題解決に取り組むため、校長と年間20回（小学校・中学校各10回）意見交換を行い、学校教育支援を行う。 ・区教育行政に関して、その立案段階から地域・保護者の意見を聴取し、教育行政に適宜反映するため、「区教育会議」を2回開催する。 ・学校運営について、地域や保護者が参画していく学校協議会のモニタリングとサポートを行う（全17校園）。 ・発達障がいのある児童生徒など、支援を要する児童生徒に対し、発達障がい等サポーターを配置し、学校生活に必要な支援を行い、支援を要する児童生徒と支援を要しない児童生徒が共に学校生活を送れるよう支援する。（全8小学校、3中学校に配置） | 区と学校が連携して学校を取り巻く課題解決に取り組んでいると感じる学校の割合：100% 【撤退基準】上記目標が50%以下であれば、事業手法を再構築する。 |
| | | 前年度までの実績 平成28年度実績（平成28年12月末現在） ・小中学校校長との意見交換を計16回開催 ・学校協議会傍聴（17校園／17校園） ・発達障がいサポーター配置校数10校、計25名配置 平成27年度実績 ・小中学校校長との意見交換を計19回開催 ・学校協議会傍聴（延べ35回）及び運営補佐（新任委員研修） ・学校支援ボランティアのべ4名紹介 ・地域ボランティア配置校数10校 ・発達障がいサポーター配置校数11校 |

| | | |
|--------|--|--|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定） |

| | | |
|------|--|---|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定） |

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題2

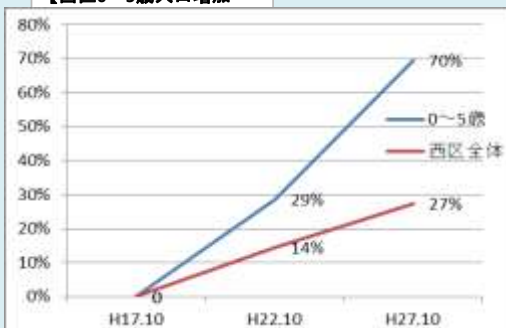
【安全・安心で快適なまちづくり】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

- 高齢者、障がいのある人、子育て層など、誰もが安全で安心して暮らすことができ、住み続けたいと思う
- ・子育て中の親子が、多様な保育サービスや子育て支援をうけながら、安心して子育てができる
 - ・地域住民が日頃から高い防災意識と自助・共助の意識をもち、災害時にも多くの区民の命が安全に確保される
 - ・地域と行政が連携して、交通事故や犯罪がおこりにくいまちづくりができていく
 - ・高齢者や障がいのある人を、ひととひとのつながりのなかで、地域で日頃から見守りができる
 - ・誰もが、気軽に健康づくりに取り組むことができ、元気ですこやかに暮らすことができる
 - ・区民と協働した人権行政を推進することで、区民の誰もが人権が尊重されていると感じることができる

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【西区0～5歳人口増加】



【西区待機児童数】

| 待機児童数 | 待機児童数 | 入所保留児童数 |
|---------|-------|---------|
| 平成24年4月 | 70人 | 163人 |
| 平成25年4月 | 51人 | 170人 |
| 平成26年4月 | 37人 | 227人 |
| 平成27年4月 | 38人 | 257人 |
| 平成28年4月 | 44人 | 256人 |

【駅周辺の放置自転車台数】

平成27年2月…887台 平成28年2月…549台 平成28年11月…630台
 【歩道の放置自転車を危険や通行の支障となっていると感じる居住者の割合】
 平成26年8月…64.3%
 【モデル地区における生活道路で整列駐輪されている自転車の割合】
 平成27年4月…39.3% 平成27年7月…54.8%

【南海トラフ巨大地震による被害想定（死傷者数）】※冬18時

| | 早期避難率低の場合 | 避難迅速化の場合 |
|----|-----------|----------|
| 全市 | 119,350人 | 7,882人 |
| 西区 | 20,245人 | 38人 |

【街頭犯罪発生件数】

| | 全市 | 西区 | うち自転車盗 |
|-----------|---------|------|--------|
| 平成26年 | 28,867件 | 931件 | 611件 |
| 平成27年 | 25,400件 | 864件 | 559件 |
| 平成28年11月末 | 23,794件 | 956件 | 604件 |

【人権展、人・愛・ふれあいプラザへの新規参加率】

28%（平成25年度）
 28%（平成26年度）
 29%（平成27年度）

【できる限り在宅での生活を希望する方】

57.1%（大阪市 高齢者実態調査報告書 平成27年3月）
 ＊団塊の世代が後期高齢者となる平成37年までに、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができることをめざし、平成27～29年度「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」等が策定された。

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・マンションの増加による核家族化、地域のつながりの希薄化などにより、身近で気軽に子育ての相談をできる環境がなく、仕事と子育ての両立を望んでいる家庭も多いなど、子育てにかかる多様なニーズがある。
- ・南海トラフ巨大地震による人的被害想定については、早期避難により最大限減らすことができることから、その対策が急務である。
- ・駅周辺の放置自転車は年々減少しているが、生活道路に放置された自転車が、歩行者の通行の妨げや危険にさらす恐れが生じている。また、自転車関連事故の割合が他区に比べて非常に高く、自転車運転の交通法令違反が要因と考えられる。
- ・西区の街頭犯罪件数は減少傾向にあるが、約7割を自転車盗難が占めている。
- ・高齢者や障がいのある人等が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むために、行政や専門機関による支援機能の充実だけでは限界がある。
- ・地域のつながりが希薄化する中、助け合いや高齢者の見守りといった地域の福祉活動が広がりにくく、災害時等における要援護者の把握も充分でない。
- ・健康寿命は市平均を上回るが、生活習慣病の予防及び早期発見・早期治療等を推奨することで、健康寿命のさらなる延伸が期待できる。
- ・人権展等の人権啓発イベントへの新規参加者の割合が低迷している。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・身近なところで気軽に子育ての相談や支援が受けられる環境を提供するとともに、子育てと仕事が両立できる環境を整える。
- ・住民や企業等が高い防災意識をもち、相互が連携して災害時に迅速な避難や初期初動活動が行えるよう支援する。
- ・生活道路の安全な歩行空間を確保するとともに、自転車関連事故を減少させるため、自転車運転マナーを向上させる取組みを推進する。
- ・街頭犯罪の減少に向け、自転車盗難に関する啓発活動など、区民の防犯意識が高まる取組みを継続するとともに、犯罪が起こりにくい地域環境を整備する。
- ・区の実情に応じた「地域包括ケアシステム」等を構築するとともに、各地域における見守り組織を構築する。
- ・看護・介護・福祉など多職種との連携を推進するとともに、生活習慣病の予防・早期発見・治療の推奨など健康づくりの取組みを強化する。
- ・幅広い層に人権問題への関心を持ってもらうため、人権啓発等の取組内容を工夫する。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 2-1 【安心して子育てができる環境づくり】

| | | | | |
|------|---|------------------------------------|--|------------------------|
| 計画 | めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 安心して子育てができる環境が整っている。 | | 戦略<中期的な取組の方向性> ・安心して子どもを生み、育てられるように、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援体制を構築するとともに、子育て家庭のさまざまなニーズにきめ細かく対応できるよう、身近な地域で子育てができる環境を整える。 ・子育て支援室及び必要保護児童対策地域協議会の機能強化に向け、関係機関との連携を強固にしていく。 | |
| | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 安心して子育てができる環境が整っていると感じている区民の割合:平成29年度までに80%以上 | | | |
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す | | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 | 個別 | 全体 |
| | | | A:順調 B:順調でない | |
| | 戦略の進捗状況 | a:順調 b:順調でない | | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 |

具体的取組2-1-1 【こども相談援助・子育て情報発信による子育て支援】

| | | | | | | | |
|------|---|---|--------------|--|------------------------------|-------|---------|
| | | 27決算額 | 5,790千円 | 28予算額 | 5,941千円 | 29予算額 | 5,970千円 |
| 計画 | 取組内容 ・保育士、保健師、家庭児童相談員などに加え、臨床心理士や社会福祉の専門職を配置し、支援が必要な子どもを早期に発見し相談援助を行う。 ・利用者支援員を配置し、教育・保育その他の子育て支援を円滑に利用できるよう情報提供を行う。【こども青少年局区CM事業予算算定額21,093千円】 ・子育て支援連絡会との連携深め、子育て支援情報紙「手をつなごう」を年2回以上発行する。 ・ICTを活用し、タイムリーな情報を発信する。 | | | 業績目標(中間アウトカム) 臨床心理士・社会福祉士等による相談支援件数:400件以上 【撤退基準】 上記目標が200件以下であれば事業手法を再構築する。 前年度までの実績 相談支援件数 平成28年度実績 323件(12月末) 平成27年度実績 377件 利用者支援事業相談件数 平成28年度実績 1,143件(12月末) 平成27年度実績 1,021件 | | | |
| | 中間振り返り | 業績目標の達成状況 ①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成 | 戦略に対する取組の有効性 | | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | |
| 自己評価 | 取組実績 | | | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | |
| | 業績目標の達成状況 ①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成 | | | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | | | ○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定) | | | |

具体的取組2-1-2 【保育サービスの充実】

| | | | | | | | |
|--------|--------------|--|---------|-------|---------|-------|---------|
| | | 27決算額 | 6,334千円 | 28予算額 | 5,703千円 | 29予算額 | 5,697千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） 訪問型病児保育（共済型）の新規登録者数：60人以上 【撤退基準】 上記目標の50%以下であれば事業手法を再構築する。 | | | | | |
| | | 前年度までの実績 平成28年度実績 ・訪問型病児保育（共済型）の新規登録者数 50人（平成28年12月末時点） 平成27年度実績（27.12.1開始） ・訪問型病児保育（共済型）の新規登録者数 30人（平成28年3月末時点） | | | | | |
| | | ①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定） | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | | ①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定） | | | | | |

具体的取組2-1-3 【児童虐待の防止】

| | | | | | | | |
|--------|--------------|---|------|-------|------|-------|------|
| | | 27決算額 | 75千円 | 28予算額 | 82千円 | 29予算額 | 86千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） 担当者と対応することで、区役所が身近に感じられるようになったと感じた就学前機関の割合：80%以上 【撤退基準】 上記目標が40%以下であれば、事業手法を再構築する。 | | | | | |
| | | 前年度までの実績 平成28年度実績 ・全就学前機関個別訪問実施 2回 平成27年度実績 ・広告液晶モニター12回掲載・区民まつり会場で啓発物品配布・虐待防止研修会 1回（10月）開催 | | | | | |
| | | ①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定） | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | | ①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定） | | | | | |

具体的取組2-1-4 【いじめや問題行動、不登校対策】

| | | | | | | | |
|--------|--------------|--|---------|-------|---------|-------|---------|
| | | 27決算額 | 3,318千円 | 28予算額 | 3,194千円 | 29予算額 | 3,194千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） ・SSWが相談・支援を行った件数 180件以上 【撤退基準】 上記目標が90件以下であれば、事業手法を再構築する。 | | | | | |
| | 取組内容 | ・社会福祉等の専門知識や技術を有するスクールソーシャルワーカー（SSW）1名を配置し、区内の小中学校を巡回することで、いじめ、不登校、発達障がい等の問題を抱える児童生徒の課題解決を図る。 ・スクールカウンセラー3人を追加で配置し、区内の全小中学校を対象として、子どもやその保護者、教職員の相談体制を充実させる。【子ども青少年局区CM事業予算額6,860千円】 | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| 自己評価 | 戦略に対する取組の有効性 | ○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

具体的取組2-1-5 【マンションコミュニティづくり 1-2-1再掲】

| | | | | | | | |
|--------|--------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 27決算額 | 259千円 | 28予算額 | 214千円 | 29予算額 | 172千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） 各事業に参加して、マンション住民のコミュニケーションが必要と感じた人の割合:70%以上 【撤退基準】 上記目標が40%以下であれば事業手法を再構築する。 | | | | | |
| | 取組内容 | ・子育て世代のマンションに出向き、民生委員・主任児童委員など地域住民と協力しながら、マンションに居住する親子が集う「にっしー広場」を年12回以上開催するとともに、地域の活動につながる支援を行う。 ・出前講座(防災)や防災訓練等をきっかけに地域とのつながりや地域活動への参加を促し、地域とのコミュニティづくりを支援する。 ・各事業の参加者に対して、地域での様々な取り組みを紹介するとともに、地域行事への参加を促す。 | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| 自己評価 | 戦略に対する取組の有効性 | ○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

めざす成果及び戦略 2-2 【災害に強いまちづくり】

| | | |
|------|----------------------|------------------------|
| 計画 | めざす状態<概ね3~5年を念頭に設定> | 戦略<中期的な取組の方向性> |
| | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> | |
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | アウトカムの達成状況 | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | 戦略の進捗状況 | |
| | | |

具体的取組 2-2-1 【防災対策】

| | | | | | | | |
|--------|--------------|------------------------------|---------|-------|---------|-------|---------|
| | | 27決算額 | 1,324千円 | 28予算額 | 2,529千円 | 29予算額 | 2,408千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標 (中間アウトカム) | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| 中間振り返り | 戦略に対する取組の有効性 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 取組実績 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |

めざす成果及び戦略 2-3 【安全で快適な居住環境づくり】

| | | | | |
|---------|---|------------------------------------|--|--|
| 計画 | めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> | | 戦略<中期的な取組の方向性> | |
| | ・駅周辺や生活道路において、市民協働型施策により、放置自転車による危険度が減少している。 ・自転車運転者が交通法令を遵守し、自転車事故が減少している。 ・地域住民の防犯意識と犯罪抑制に対する関心が高まり、西区内の街頭犯罪件数が減少することで、区民一人ひとりが安全安心なまちと感じることができる。 | | ・駅周辺の放置自転車対策については、これまでの取組を継続する。 ・生活道路においては、住民発意の「通行空間を確保する駐輪地域ルール」の実践に向けた啓発活動がより効果的になり、将来地域の独立した取組となるよう支援する。 ・自転車運転者自らが交通法令を遵守することで、その行動が子どもをはじめ区民の自転車運転の手本となってもらうよう、広範な区民を対象に交通安全講習会を実施する。 ・防犯に係る啓発活動をはじめ、地域や関係機関と協働して防犯活動に取り組むことにより、区民の防犯意識の向上を図るとともに、犯罪が起りにくい地域環境の整備を図る。 | |
| 自己評価 | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> | | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 | |
| | ・西区内の交通事故(人身事故)発生件数の前年からの減 ・西区内の街頭犯罪発生件数:平成28年比5%減 | | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 | |
| | 戦略のアウトカムに対する有効性 | ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す | | |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 個別 全体 | | |
| 戦略の進捗状況 | | a:順調 b:順調でない | | |

具体的取組2-3-1 【生活道路における市民協働型自転車利用適正化】

| | | | | | | | |
|--------------|---|---|---|-------|-------|-------|-------|
| | | 27決算額 | 507千円 | 28予算額 | 655千円 | 29予算額 | 124千円 |
| 計画 | 取組内容 | | 業績目標(中間アウトカム) | | | | |
| | モデル地区において立ち上げたワーキングチームによる議論を重ね、発案された「通行空間を確保する駐輪地域ルール」の住民による実践に向けた啓発活動がより効果的になり、将来地域の自律した取組となるよう積極的に区役所の役割を担う。 ・モデル地区住民総体の取組となるよう、堀江地区は啓発活動を、高台地区は中型店を重点として店舗、地域の駐輪対策を協議するなど啓発活動を中心とした支援をする。 | | モデル地区の生活道路において、放置自転車による危険度が減少したと感じる区民の割合:65%以上 【撤退基準】 上記目標が55%を下回った場合、事業手法を再構築する。 前年度までの実績 平成28年度:「歩行空間を確保する駐輪地域ルール」実践パトロール(指導)への支援回数 13回 平成27年度:「歩行空間を確保する整列地域ルール」実践パトロール(指導)への支援回数 16回 | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | |
| | ①:目標達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成 | | | | | | |
| 自己評価 | 戦略に対する取組の有効性 | | ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定) | | | | |
| | 取組実績 | | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | |
| | ①:目標達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成 | | | | | | |
| 戦略に対する取組の有効性 | | ○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

具体的取組2-3-2 【交通安全運動推進】

| | | | | | | | |
|--------|--------------|--|------|-------|------|-------|------|
| | | 27決算額 | 28千円 | 28予算額 | 62千円 | 29予算額 | 59千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） 自転車関連事故件数の前年からの減 【撤退基準】 上記目標が未達成の場合、事業手法を再構築する。 | | | | | |
| | | 前年度までの実績 28年度：土曜日授業を活用した小学校交通安全教室 2回 親子対象幼稚園・保育所交通安全出前講座 6回 自転車利用企業等交通安全講習会 5回 27年度：土曜日授業を活用した小学校交通安全教室 5回 親子対象幼稚園・保育所交通安全出前講座 5回 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | | | | | |
| 中間振り返り | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |
| | 課題と改善策 | ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

具体的取組2-3-3 【犯罪を生まない地域との協働】

| | | | | | | | |
|--------|--------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 27決算額 | 654千円 | 28予算額 | 783千円 | 29予算額 | 739千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） ・西区内の自転車盗難発生件数：平成28年比5%減 【撤退基準】 ・上記目標が未達成の場合、事業手法を再構築する。 | | | | | |
| | | 前年度までの実績 平成28年度実績(12月末現在) ・自転車盗難対策啓発回数：83回 ・落書き消去活動回数：11回 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | | | | | |
| 中間振り返り | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |
| | 課題と改善策 | ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

めざす成果及び戦略 2-4 【誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり】

| | | | | |
|---------|---|------------------------|---|----|
| 計画 | めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定> | | 戦略<中期的な取組の方向性> | |
| | だれもが地域で安心して健やかに生活できるように、行政だけでなく、医療や介護・福祉にかかわる専門機関が情報を共有し、相互に連携をはかり、地域で支えあって暮らす仕組みができています。 | | ・地域福祉活動の交流の場を確保し、取り組みの持続性・発展性に寄与する。 ・高齢者・障がい者見守り強化のために、地域福祉活動の担い手に対する支援を進める。 ・在宅医療と介護分野の連携が円滑にできるようネットワークの構築を進め、包括的なサービスを提供できる体制づくりに取り組む。 ・地域の健康づくり活動の担い手とともに各種健康講座等に取り組みながら、それらの場を活用して、未然に疾病の発生を防ぐための生活習慣病予防についての啓発を行う。 | |
| 自己評価 | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> | | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 | |
| | 住みなれた地域で安心して暮らせると感じている区民の割合：平成29年度までに60%以上 | | ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す | |
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | 前年度 | 個別 | 全体 |
| | アウトカムの達成状況 | | | |
| | A：順調 B：順調でない | | | |
| 戦略の進捗状況 | | a：順調 b：順調でない | | |
| | | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 | | |

具体的取組2-4-1 【地域福祉アクションプラン推進支援】

27決算額 292千円 | 28予算額 301千円 | 29予算額 436千円

| | | | | |
|--------------|--|---|---|--|
| 計画 | 取組内容 | | 業績目標（中間アウトカム） | |
| | 地域福祉を推進する区の方針を広く周知し、担い手の意識向上・拡大を図るため、アクションプランの見直しを含む区地域福祉計画を策定する。また、高齢者や子育て世代、障がい者・児が抱える生活課題を理解するための交流事業を実施することで、地域住民との福祉コミュニティの形成を図り、住民の主体的な参加を推し進める。 ・子育て層の交流の場「てをつなごう！」の実施(1回) ・「高齢・子ども・障がい」の3部会が合同企画する交流の場「そよかぜまつり」の実施(1回) ・高齢者だけでなく、あらゆる世代の孤立化防止のための居場所づくりである「立ち寄り処」について、地域主体の運営の支援をしていく(3か所、月1回の開催) | | 「てをつなごう！」「そよかぜまつり」の各事業を通じて、お互いに生活課題を理解し合える交流の場、情報共有の場となったと感じる参加者・ボランティアの割合が75%以上 【撤退基準】 上記目標が70%未満であれば、事業手法を再構築する | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | |
| | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | | 前年度までの実績 ・「てをつなごう！」(平成28年7月1日開催) 交流の場と感じた割合：73.1%、情報共有の場と感じた割合：78.2% 参加者559名、ボランティア135名、参加団体41団体 ・「そよかぜまつり」(平成28年11月19日開催) 生活課題を理解しあえる場と感じた割合：89.5%、情報共有の場と感じた割合：87.9% 参加者1165名、ボランティア190名、参加団体78団体 ・「立ち寄り処」区内3ヶ所で月1回開催中 | |
| 自己評価 | 戦略に対する取組の有効性 | | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | |
| | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す 一：中間アウトカム未設定(未測定) | | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | |
| | 業績目標の達成状況 | | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | |
| 戦略に対する取組の有効性 | | ○：有効 ×：有効でないため見直す 一：中間アウトカム未設定(未測定) | | |

具体的取組2-4-2 【地域における見守り活動の支援】

| | | | | | | | |
|--------|--|--|---------|-------|----------|-------|----------|
| | | 27決算額 | 9,415千円 | 28予算額 | 13,281千円 | 29予算額 | 13,667千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 「地域における要援護者のネットワーク強化事業（福祉局CM事業予算額13,738千円）」で、要援護者名簿整備と福祉専門職のワーカーによる孤立世帯への専門的対応、徘徊認知症高齢者保護の強化等を行う 高齢者・障がい者等の孤立を防ぎ、地域とのつながり作りのために見守りコーディネーターを各地域に配置し、高齢者や障がい者等に対する福祉情報の提供や相談支援を行う 地域における見守り活動組織の立ち上げ並びに継続的な運営のための支援を行う 各地域における民生委員・児童委員、地域社協等との連携を強化し、見守り活動の充実に取り組む | 地域における見守り活動組織の継続的な運営：14地域 | | | | | |
| | | 【撤退基準】 上記目標が12地域未満であれば、事業手法を再構築する | | | | | |
| | | 前年度までの実績 | | | | | |
| | | ・地域における見守り活動組織の構築：10地域（H28.12月末現在） | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

| | | | | | | | |
|------|--|---|--|--|--|--|--|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | | | | | | |
| | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

具体的取組2-4-3 【在宅医療・介護連携の推進】

| | | | | | | | |
|--------|--|---|----|-------|----|-------|----|
| | | 27決算額 | －円 | 28予算額 | －円 | 29予算額 | －円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 患者や家族等の在宅療養生活を支えるために、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行われることを目的に、区内医療関係団体（医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護事業者連絡会）と介護関係団体との連携をはかるためのネットワークを構築する。 患者や家族等の状態の変化等に対応できるよう区独自に作成した情報共有シート（統一化された連絡様式等）を用いるなど、関係機関で連携を図る具体的な仕組みの構築に向けて、課題抽出及び対応策・解決策を整理する。 | <ul style="list-style-type: none"> 西区の在宅医療・介護関係者のうち、在宅医療・介護連携のネットワークが構築され、機能してきていると回答した者の割合15% 【撤退基準】 ・上記目標が10%未満であれば、事業手法を再構築する。 | | | | | |
| | | 前年度までの実績 | | | | | |
| | | 【平成28年度】・西区在宅医療・介護連携推進会議の開催(3回予定)・モデル事業の実施・医療介護関係者の研修(1回)・地域住民への普及啓発(リーフレット作成済・講座開催予定)・実態調査 | | | | | |
| | | 【平成27年度】 ・地域の医療・介護連携推進のために協議の場を開催(7回)し、課題とその対応策についてまとめ、今後の方向性を示した。・医療・介護関係者の研修(1回)・地域住民への普及啓発(1回) | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

具体的取組2-4-4

【地域の健康づくり】

| | | 27決算額 | 400千円 | 28予算額 | 82千円 | 29予算額 | 75千円 |
|--------|----------------|---|-------|-------|------|-------|------|
| 計画 | 取組内容 | <p>・人が多く集まる大型商業施設・地域に根ざした商店街等で西区内医療関係団体や健康増進に取り組む団体等と連携し、健康づくり啓発活動を行う。(2回)</p> <p>・子どもを対象とした健康づくり啓発活動を行う。(1回)</p> <p>・母子手帳発行時の保健師個別面談時や、「各種健康講座」、「食育なつまつり」、「健康のつどい」、「3か月児健診」「3歳児健診」等で、保健師や栄養士のノウハウを活かし、「生活習慣改善指導」や「がん検診の受診勧奨」を実施する。</p> <p>・広報「かぜ」やHP、フェイスブック等により、「健診・検査のお知らせ」をはじめ、各種健康講座の案内等を周知する。</p> | | | | | |
| | 業績目標 (中間アウトカム) | <p>各種健康講座など多くの機会を活用して生活習慣病やがん予防をテーマに健康教育を実施し、その参加者累計が5,000名以上。</p> <p>【撤退基準】 上記目標の60%以下であれば、事業手法を再構築する。</p> | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | <p>①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成</p> | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | <p>○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)</p> | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | <p>課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p> | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | <p>改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p> | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | <p>○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)</p> | | | | | |
| | 取組内容 | <p>①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成</p> | | | | | |

めざす成果及び戦略 2-5 【人権尊重のまちづくり】

| | | |
|----|--|--|
| 計画 | めざす状態<概ね3~5年間で念頭に設定> | 戦略<中期的な取組の方向性> |
| | 幅広い層の区民が各種開催される啓発活動に参加し、人権について関心を持っている。 | 差別や偏見のない人権尊重のまちづくり推進のため、西区人権啓発推進協議会と地域・PTA・企業・NPO等が連携し、幅広い層の区民が地域の人権課題を自らの課題として取り組めるようなきっかけづくりや研修会を実施することで、地域に密着した人権尊重のまちづくりを推進する。 |
| 計画 | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> | |
| | 人権展・各種講演会に参加して、人権意識が高まったと感じる区民の割合：平成29年度までに80%以上 | |

| | | | |
|------|-----------------|------------------------------------|------------------------|
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 個別 全体 | |
| | | | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | | A: 順調 B: 順調でない | |
| | 戦略の進捗状況 | a: 順調 b: 順調でない | |

具体的取組2-5-1 【区における人権啓発推進】

| | | | |
|----|--|--|---------------|
| | 27決算額 1,296千円 | 28予算額 1,343千円 | 29予算額 1,330千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） | |
| | ・「人権展」(1回)や、区内の地域団体・PTA・企業等との連携による研修会・講演会等(3回以上)の実施にあたり、新規参加者の割合が向上するように企画内容を精査するなど、幅広い層の区民の人権への関心が高まる工夫を行う。 | 人権展・各種講演会への新規参加者の割合：30%以上 | |
| | | 【撤退基準】 上記目標が15%以下であれば、事業手法を再構築する。 | |
| | | 前年度までの実績 | |
| | | 平成27・28年度実績 ・人権展(1回)、西区人権フェスタ(1回)、PTA対象人権講演会(1回)などの研修会・講演会の開催のほか、人権週間における街頭啓発(1回) | |

| | | |
|--------|---|---|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) |

| | | |
|------|---|--|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) |

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題3

【多彩な魅力を活かした西区のブランド力の向上】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）〈概ね10～20年間で念頭に設定〉

区民のシビック・プライドが醸成され、自らよりよいまちにしていこうという当事者意識でまちづくりに関わっている。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【西区の地域資源】

- ・街区公園の数、面積：28か所、106,285㎡（区民1人当り面積：1.14㎡⇒市内3位）
- ・リバーフロント：富島地区（中之島GATEサウスピア）、大阪アドトリバー千代崎、とんぼりリバーウォーク、木津川遊歩道（H28.4、一部供用開始）
- ・文化・芸術系施設：市立中央図書館、大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）、芸術系専門学校3校
- ・「西区まちの活力創造プロジェクト」認定事業：3件（新町アワザサーカス、大家comサポート、堀江こども学校[※]）

※ 堀江こども学校を行っている「堀江の会」は、西区役所主催の「にし恋マルシェ」を契機のひとつとして、平成27年5月に堀江エリアの店舗、企業で構成する商店組合として正式に発足した。堀江こども学校や、公園の清掃活動、地域防災訓練への協力など、地域活動に貢献するほか、独自で各種イベントを行い、堀江エリアの活性化に取り組んでいる。



【西区の人口・世帯数の推移】 経営課題1参照

【西区の企業：H24経済センサス】

- ・事業所総数（公務除く）：11,412事業所（市内4位）
- 〈詳細〉製造業：842事業所（市内9位）、卸・小売業：3,884事業所（市内3位）、デザイン業：227事業所（市内3位）

【平成27年度区民モニターアンケート結果】

- ・地域住民に加え、企業やNPOなどがまちの活性化に協力し、西区のイメージがさらに向上したと感じる区民の割合：感じる・どちらかといえば感じる区民 15%
- ・区の特長や地域実情に応じた取組が進められていると感じる・どちらかといえば感じると思う区民 21%
- ・区からの情報発信により西区の魅力を知ることができたと感じている区民の割合：33%

【平成28年度区民モニターアンケート結果】

- ・新聞の未購読者のうち、広報紙の個別配布制度を「知らなかったが今後利用したい」と回答した区民の割合 61%
- ・広報紙について、「近くにあれば手に取りたい」と回答した区民の割合 20%、「置いてある場所が分かれば手に取りたい」と回答した区民の割合 42%

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）〈めざすべき将来像と現状に差が生じる要因〉

- ・高層マンションの建設等により人口が増加し続ける中、住民間における交流不足により地域コミュニティの希薄化が進んでいる。
- ・西区の特色ある施策・事業が十分に区民に伝わっていない。また、西区の魅力についての情報収集・発信が不十分である。

課題〈上記要因を解消するために必要なこと〉

- ・希薄になりがちな地域コミュニティを活性化させ、シビック・プライドの醸成を図るため、区役所と地域住民、企業、学校などが連携し、公園や文化施設など点在する地域資源を最大限に活かした協働の取組を行い、様々な形での交流の機会を増やしていく必要がある。
- ・区政情報が確実に届くよう情報発信手法を拡充する。
- ・西区役所からお知らせを伝えるだけでなく、区の魅力等を広く情報発信する。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 3-1 【新たなネットワーク構築による地域の活性化】

| | | |
|----|--|--|
| 計画 | めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> ・企業ネットワークや地域との連携により西区ブランド創出の基盤ができており、地域の活力がアップしている。 | 戦略<中期的な取組の方向性> ・商店会、中小企業、経済団体、各種学校等、地域団体など多様な活動主体が連携し、地域課題の解決や住民同士の交流など地域の活力向上をめざした取り組みを進めるため、多様な活動主体が協働して取り組む機会を創出するなど、活動主体相互のネットワーク拡充に向けた支援を行う。 |
| | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・区役所との協働で、地域課題の解決や地域活力向上の取組を進める事業者団体や地域企業、その他地域団体等：平成29年度までに8団体以上 ・区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合 平成29年度までに60%以上 ・地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数 平成29年度までに1件以上 | |

| | | | |
|------|-----------------|------------------------------------|------------------------|
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 個別 全体 | |
| | 戦略の進捗状況 | a:順調 b:順調でない | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | A:順調 B:順調でない | | |

具体的取組3-1-1 【ネットワークの活用による地域活力の向上】

27決算額 20千円 28予算額 2,688千円 29予算額 667千円

| | | |
|----|---|--|
| 計画 | 取組内容 ・区内のものづくり企業やクリエイター等と連携し、地域産業に関する魅力を情報発信するとともに、区民の地域産業への関心を高めるため、ものづくり体験(1回開催)や職場見学を実施する。 ・企業ニーズ等の実態把握や企業見学会(ものづくり体験)を行いながら、ネットワークの構築に向け、企業団体等との連携を図る。 ・西区のまちの魅力を多くの人に知ってもらい、また感じてもらうことにより、西区のブランド力を向上させるため、新たなマンション住民等と地域や地域事業者とのつながりを深め、ともにまちづくりに参加・参画する「に恋マルシェ」(1回開催)の開催を支援する。 ・デザインの視点で地域課題の根本解決に向け、これまで行ってきた事業をもとに、地域課題の抽出やその解決手法、さらには体制整備についてデザイナーやクリエイターの視点から、行政だけでは考えられないアイデアを聴取する目的で設置した「西区文化芸術の持つ創造性を活かしたまちづくり会議」を開催する。また、並行して、地域課題の解決に向けた対応をさらに充実させることを目的として、府立江之子島文化芸術センター等の関係機関と長期にわたり継続して連携できる体制の整備を行う。 | 業績目標(中間アウトカム) 事業に参加することで、区内の企業や店舗の良さを知り、再訪などにより企業や店舗を応援していきたいと感じた参加者の割合:80%以上 【撤退基準】 上記目標が40%以下であれば、事業を再構築する。 前年度までの実績 平成28年度実績 ・企業見学会を実施(2社)(平成28年12月末現在) 平成27年度実績 ・企業見学会を実施(2社)。 ・マルシェ:H26実施内容のほか、食育体験やスマホアプリを活用したクイズラリーを実施。 平成26年度実績 ・ものづくり企業見学会を実施(1社)。 ・マルシェ:H25実施内容のほか、アートワークショップを新たに実施。 |
|----|---|--|

| | | |
|--------|--|------------------------------|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成 | |

| | | |
|------|--|---------------------------|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成 | |

| | |
|--------------|---|
| 戦略に対する取組の有効性 | ○:有効 ×:有効でないため見直す -:中間アウトカム未設定(未測定) |
|--------------|---|

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 27決算額 | 120千円 | 28予算額 | 381千円 | 29予算額 | 445千円 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

| | | |
|----|--|---|
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） |
| | <p>・「西区まちの活力創造プロジェクト」認定事業として「暮らしを豊かにするビジネスアイデアコンテスト」(1回開催)を引き続き実施するとともに、優秀賞の事業を認定事業化に向け支援し、認定事業となった場合の広報支援などを行う。</p> | <p>・認定事業化に向けた支援 1件以上</p> <p>【撤退基準】</p> <p>・認定事業化に向けた支援ができなかった場合、事業を再構築する。</p> <p>前年度までの実績</p> <p>平成28年度</p> <p>・「第4回暮らしを豊かにするビジネスアイデア」コンテストの提案募集開始(10月)</p> <p>・昨年度に引き続き、認定事業について広報等の支援を行う。</p> <p>・平成27年度の優秀賞2件に対して、関係者の紹介等を行い認定事業化に向けて調整。</p> <p>平成27年度</p> <p>・「西区まちの活力創造プロジェクト」認定事業として「第3回暮らしを豊かにするビジネスアイデア」コンテストを実施</p> <p>・平成25・26年度の認定事業について、広報等の支援を行う。</p> <p>平成26年度実績</p> <p>・「第2回暮らしを豊かにするビジネスアイデア」コンテストを実施</p> <p>・25年度及び26年度優秀賞の2事業を「西区まちの活力創造プロジェクト」事業として認定。</p> <p>平成25年度実績</p> <p>・「暮らしを豊かにするビジネスアイデア」コンテストを実施。</p> <p>・コンテスト優秀賞の内、1事業を「西区まちの活力創造プロジェクト」事業として認定。</p> |

| | | |
|--------|--|------------------------------|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | <p>①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③: 撤退基準未達成</p> | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | |

| | | |
|------|--|---|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | <p>①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③: 撤退基準未達成</p> | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | <p>○: 有効</p> <p>×: 有効でないため見直す</p> <p>—: 中間アウトカム未設定(未測定)</p> |

めざす成果及び戦略 3-2 【地域資源を活かしたまちづくり】

| | | |
|----|--|--|
| 計画 | めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・公園やリバーフロント、文化施設等の地域資源を活かして、にぎわいの場が生まれている。 | 戦略<中期的な取組の方向性> ・公園やリバーフロント、文化・芸術等の地域資源を活用し、区の魅力としてブランド力向上や地域コミュニティの活性化につなげるため区民と協働した取組を進める。 |
| | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・まちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 平成29年度までに 50%以上 | |

| | | | | |
|---------|------------------------|------------------------------------|-------------------|----|
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 | |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 | 個別 | 全体 |
| | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 | | | |
| | A: 順調 B: 順調でない | | | |
| 戦略の進捗状況 | | a: 順調 b: 順調でない | | |

具体的取組3-2-1 【地域資源の活用によるにぎわいづくり】

27決算額 5,505千円 28予算額 1,305千円 29予算額 46千円

| | | |
|----|---|--|
| 計画 | 取組内容 ・都心で自然と触れ合い、人と人とのつながりを深める「バラ祭」、「えほんpicnic」など公園を活用した取組を活動団体と協働して実施する。 ・水辺のにぎわい活性化に向け、区内各所の地域関係団体等との連携を図る。 ・文化施設と連携して実施してきた、文化事業での成果であるデザイン力を活かした取組みなどが、広く区民の目に触れ、親しまれるよう活用する。 | 業績目標 (中間アウトカム) イベントを実施することで、西区の魅力向上につながると感じる参加者の割合: 80%以上 【撤退基準】 上記目標が50%以下であれば、事業内容を再構築する。 |
| | 前年度までの実績 | |
| | 平成28年度 ・バラ祭で西区の魅力向上につながると感じる参加者の割合 91%(参加者数30,000人) 平成27年度実績 ・バラ祭で西区の魅力向上につながると感じる参加者の割合 94%(参加者数30,000人) ・絵本ピクニックで西区の魅力向上につながると感じる参加者の割合 96%(参加者数361組、1,076人) ・「浸水どうぶつものさし」をH26設置場所と合わせて約100カ所に設置。 ・区役所において「防災」をテーマに「浸水どうぶつものさし展」を開催。 平成26年度実績 ・H25に作成した「浸水どうぶつものさし」が「2014グッドデザイン賞」を受賞、50施設に設置 ・アートワークショップを1回開催 | |
| | | |

| | | |
|--------|---|---|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) |

| | | |
|------|---|--|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) |

めざす成果及び戦略 3-3 【戦略的な区の情報発信】

| | | |
|----|--|--|
| 計画 | めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> | 戦略<中期的な取組の方向性> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・個性的な魅力あふれるまちづくりの実現に向けて動き出していると感じる区民を増やす。 ・区役所が、区民に対して区政運営についての十分な情報を届け、理解を得ている状態 | <ul style="list-style-type: none"> ・区の特性や地域実情に応じた個性あふれる施策や事業について積極的に情報発信し、区民に理解してもらう。 ・区民に区に対する誇りや愛着を持ち続けていただくために、様々なステークホルダー(活動主体)と区が連携して進めている取組を戦略的に発信し、区に対する理解と愛着を喚起する。また、区民に西区の魅力が伝わることによって、区民自ら西区情報を発信してもらい、区内、区外の住民にとって住みたい、住み続けたいというイメージを定着させる。 |
| | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合 平成29年度までに60%以上 | |

| | | | |
|------|-----------------|------------------------------------|------------------------|
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 個別 全体 | |
| | | | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | | A:順調 B:順調でない | |
| | 戦略の進捗状況 | a:順調 b:順調でない | |

具体的取組3-3-1 【戦略的な区の情報発信】

27決算額 16,416千円 | 28予算額 18,048千円 | 29予算額 17,015千円

| | | |
|----|---|---|
| 計画 | 取組内容 | 業績目標(中間アウトカム) |
| | 区の特性に応じた個性あふれる区政運営の取組みや成果、また区の魅力や地域情報などについて、区広報紙やホームページ等様々な媒体を活用して情報発信し、区政運営に対する区民の理解を得る。また、各課と連携し、区の施策やイベント情報等を報道機関へ効果的に提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・区広報紙(毎月)、区ホームページ(随時)、区フェイスブック(月60件)、LINE(月4件) ・広報紙については、新聞折込みによる配布を継続するとともに、ご覧になりたいと思われる区民に確実にお届けするため、区広報板へのポスター掲示や来庁者への案内の強化などにより、個別配付(ポスティング)制度を積極的に周知する。 また、広報サポーター制度の活用に加え、マンションへの協力依頼を行うなど、区民が手に取りやすい設置場所を増やすとともに、設置場所をわかりやすく周知する。 ・区の魅力や多彩な人材について紹介する情報誌「にっしー」を引続き発行(年1回)し、広く区民に届くよう配布方法を工夫する。 | ・区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合:60%以上 |
| | | 【撤退基準】 上記目標が30%未満であれば、事業手法を再構築する。 |
| | | 前年度までの実績 平成28年度実績 <ul style="list-style-type: none"> ・区広報紙(毎月)、区ホームページ(随時)、区フェイスブック(月平均50件)、LINE(月平均7件)、スマートフォンアプリ(12回)による情報発信 ・情報誌「にっしー」発行予定(タブロイド版1回・冊子版1回) 平成27年度実績 <ul style="list-style-type: none"> ・区広報紙(毎月)、区ホームページ(随時)、区フェイスブック(月平均47件)、LINE(月平均6件)、スマートフォンアプリ(12回)による情報発信 ・スマートフォンアプリのコンテンツ追加2件(「にし恋マルシェ」と連携したクイズラリーサイトを試験的に追加、子育て支援サイトとして予防接種歴の管理機能を追加) ・情報誌「にっしー」の発行 2回 |

| | | |
|--------|--|--|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定) |

| | | |
|------|--|---|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定) |

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題4

【自律した自治体型の区政運営】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

地域に最も身近な区役所が、多様な協働による地域社会づくりを支援し、区に関わる施策や事業を住民ニーズを的確にとらえながら区長が責任をもって実施し、ニア・イズ・ベターの区政運営を行っている。

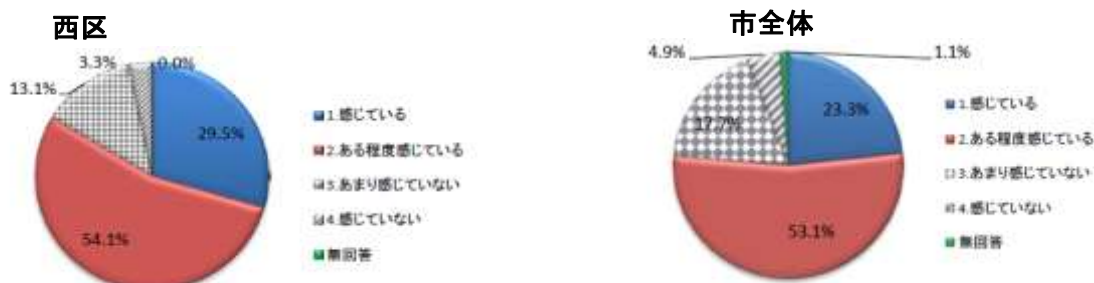
現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【平成27年度区民モニターアンケート結果】

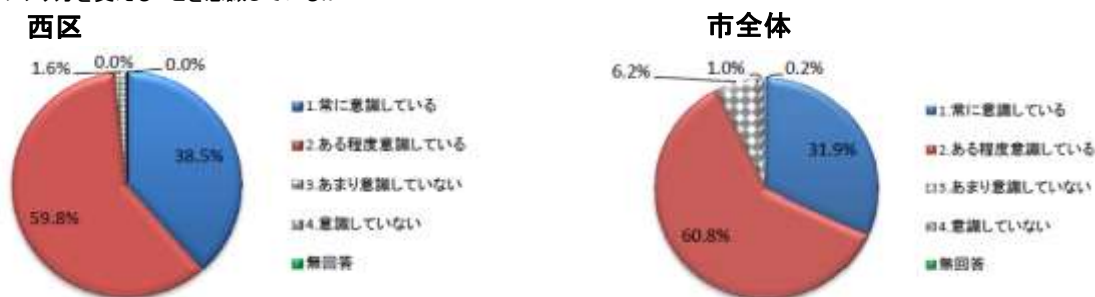
・区役所が区政運営について区民の意見や要望を聞くような工夫をしていると思う・どちらかといえば思う 27.8%（H26実績 21.1%）

【市政改革に関する職員アンケート(平成27年10月)】

・担当している仕事にやりがいを感じるか



・仕事のやり方を変えることを意識しているか



・西区では、区民に信頼され、ニア・イズ・ベターを徹底し、区政運営する自律的な職員、組織であるため、「西区職員育成基本プラン」のもと、前向きで主体的・チャレンジ意識を持ち、地域を積極的に支えることができる職員づくりと頑張る職員をしっかりとサポートしていくための職場風土づくりに取り組んできた。

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

・区民の方からいただいた意見等の区政への反映の「見える化」が不十分である。
 ・市政改革の基本的な考え方をふまえて、仕事のやり方を変えることを意識している職員の割合、担当している仕事にやりがいを感じている職員の割合が平成27年度はともに市全体を上回っており、着実に職員の意識が向上してきている。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

・区民の方からいただいた意見等に対する区の対応や考え方について、広く発信できていないことから、主な意見等への対応について、「見える化」を進める。
 ・区民に信頼される区政運営を確立するため、引き続き、職員の士気や意識向上に向けた取組を推進し、自律的な職員と組織風土づくりを進める。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 4-1 【区民の声が区政に反映される仕組みづくり】

| | | |
|----|--|--|
| 計画 | めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> 自分の意見が区役所に届いたと実感する区民を増やす | 戦略<中期的な取組の方向性> 区の地域事情や特性に応じて、多様な区民の意見やニーズを的確に把握し、区民の声が区政に反映されるとともに、区民から区政運営の評価をしてもらえる仕組みづくりを行う。 |
| | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・区役所が区民の様々な意見や要望を聞くよう努めていると思う区民の割合：平成29年度までに60%以上 ・区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合平成29年度までに60%以上 ・区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合 平成29年度までに60%以上 | |

| | | | |
|------|-----------------|------------------------------------|------------------------|
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す | 課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 個別 全体 | 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | A: 順調 B: 順調でない | | |
| | 戦略の進捗状況 | a: 順調 b: 順調でない | |

具体的取組 4-1-1 【区政会議】

27決算額 193千円 28予算額 365千円 29予算額 366千円

| | | |
|----|--|---|
| 計画 | 取組内容 ・地域活動協議会からの推薦委員等により構成される西区区政会議を2回以上開催する。 ・会議でいただいた意見を次年度の運営方針や予算、当年度の施策等に活かすとともに、意見に対する区の考えや運営方針への反映状況を、広く区民に知ってもらうため、ホームページ等へ掲出する。 ・会議での活発な議論を促して建設的な意見を頂くため、区の施策や事業について概要をわかりやすくまとめた資料を事前に送付し、頂いた質問や意見に対する区の基本的な方針を前もって示しておくなど、運営上の工夫を凝らす。 | 業績目標(中間アウトカム) 区政会議委員からの意見を運営方針等へ反映していると感じる委員の割合:60%以上 【撤退基準】 上記目標が30%以下であれば、事業手法を再構築する。 |
| | | 前年度までの実績 平成28年度実績 区政会議3回開催、事業説明会1回開催、施策等への反映項目数34項目 平成27年度実績 区政会議3回開催、事業説明会2回開催、施策等への反映項目数31項目 平成26年度実績 区政会議2回開催、施策等への反映項目数16項目 |

| | | | |
|--------|---|---|------------------------------|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成 | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) | |

| | | |
|------|---|--|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) |

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 27決算額 | 341千円 | 28予算額 | 802千円 | 29予算額 | 789千円 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

| | | | |
|----|------|---|---|
| 計画 | 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・無作為抽出による区民へのアンケートを3回以上実施し、アンケート結果はホームページ等で公表する。 ・区民の方からいただいた意見等に対して区の施策へ反映したものなどについて、庁内掲示やホームページへの掲載手法を工夫するなど、区民ニーズの施策反映について「見える化」を進める。 ・区長が区内で活動を行っている団体等から意見を聞く取組を行うなど区民の声を拾うくみを充実させ、多様な意見やニーズを把握し区政に反映する。 | 業績目標（中間アウトカム） 区役所が区民の様々な意見や要望を聞くよう努めていると思う区民の割合：60%以上 【撤退基準】 ・上記目標が25%未満であれば、事業手法を再構築する。 |
| | | 前年度までの実績 | |
| | | 平成28年度実績 ・区長「ぶらっと訪問」4回実施 平成27年度実績 ・区民モニターアンケート3回実施 ・区民モニターアンケートの「見える化」5回実施 ・区長「ぶらっと訪問」2回 ・区役所が区民の様々な意見や要望を聞くなど、区政の運営に反映するよう努めていると思う区民の割合 27.8% 平成26年度実績 ・区民モニターアンケート3回実施 ・区民モニターアンケートの「見える化」4回実施 ・区長「ぶらっと訪問」7回 ・区役所が区政運営について区民のみなさんの意見や要望を聞くような工夫をしていると思う区民の割合 21% | |

| | | | |
|--------|---|---|------------------------------|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成 | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) | |

| | | | |
|------|---|--|---------------------------|
| 自己評価 | 取組実績 | | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成 | ○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) | |

めざす成果及び戦略 4-2 【ニア・イズ・ベターの区政運営を担う職員づくりと職場環境づくり】

| | | |
|----|--|--|
| 計画 | めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> | 戦略<中期的な取組の方向性> |
| | 区民に信頼され、ニア・イズ・ベターを徹底し、区政運営する自律的な職員、組織であること。 アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 職員が市民や社会にとって意義のある仕事であると感じている職員の割合：平成29年度までに90%以上(27年度：85.4%) ・過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合 平成29年度までに 80%以上 ・区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合 平成29年度までに 80%以上 ・区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数 平成29年度までに 3.5点以上(平成27年度：3.3点) | ・西区職員育成基本プランのもと、前向きで主体的・チャレンジ意識を持ち、地域を積極的に支えることができる職員づくりと頑張る職員をしっかりとサポートしていくための職場環境づくりに取り組む。 ・コンプライアンス違反を発生させないための自律的な取組みや服務規律の確保を促進し、区民から信頼される自律的な職員と組織風土づくりを進める。 ・区民の皆さんが快適で利用しやすい区役所となるよう、庁舎案内の改善や窓口での対応の向上を図るとともに、来庁者の声を適切に把握し改善につなげる。 |

| | | | |
|------|-----------------|------------------------------------|------------------------|
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | A:有効であり、継続して推進 I:有効でないため、戦略を見直す | 課題 ※有効性が「I」の場合は必須 |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 個別 全体 | |
| | 戦略の進捗状況 | a: 順調 b: 順調でない | 今後の対応方向 ※有効性が「I」の場合は必須 |
| | A: 順調 B: 順調でない | | |

具体的取組4-2-1 【改革を推進する職員づくりと職場環境づくり】

27決算額 634千円 | 28予算額 711千円 | 29予算額 694千円

| | | |
|----|--|--|
| 計画 | 取組内容 | 業績目標 (中間アウトカム) |
| | ・民間研修機関を活用した能力向上のための研修を実施し、職員の意識向上と改革を推進する職員づくりに取り組む。 ・職員に前向きで主体性・チャレンジ意識を持たせるとともに、能力向上のため、職員人材開発センター等の外部研修への積極的な参加を促す。 ・情報共有のため、定期的に課長会や係長会などを開催し、お互いに共通認識を持つなど、課を超えた取り組みを推進する。 ・組織全体でワークライフバランスの取組みを進めていく。 ・職場活性化プロジェクトチームを中心に「5S活動」を率先垂範し定着化を図ることによって気持ちよく働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、プロジェクトチームによる職場巡視等により各課の業務・執務環境等の課題抽出や標準化を志向した改善活動に取り組む。 ・区役所職員表彰制度を効果的に運用し、他の職員の模範事例や西区職員育成基本プランの具体的実践事例を蓄積・共有することで、職員の前向きで主体的な取り組みを支援する。 | 仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合：85%以上(平成27年度：83.6%) 【撤退基準】 上記目標が70%以下であれば、事業手法を再構築する。 |
| | 前年度までの実績 平成28年度実績 「ユニバーサルサービスに重点を置いた区民サービスの向上研修」の実施 夜間スキルアップ講座等参加者：11名・19講座(平成28年12月末現在)(27年度：13名・22講座) 庶務担係長会：8回開催(平成28年12月末現在)(27年度：8回) 職場活性化PT会議：8回開催(平成28年12月末現在)(27年度：6回開催) 職員表彰の実施：(27年度：8名) | |

| | | |
|--------|---|---|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) |

| | | |
|------|---|--|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) |

具体的取組4-2-2

【コンプライアンスの確保】

27決算額 ー円 28予算額 ー円 29予算額 ー円

| | | | |
|--------|---|---|--|
| 計画 | 取組内容 | | 業績目標（中間アウトカム） |
| | <p>これまでにあった個人情報漏えい事故や不適切な事務処理事案等を共有化し、課題を検討して再発防止対策に取り組む。また、適切な事務処理ができる組織づくりのため、コンプライアンス研修を実施し、職員のコンプライアンス意識の向上と不適正事案を未然に防ぐ「風通しのよい職場づくり」を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部統制連絡会議の開催(年2回程度) ・全職員対象のコンプライアンス研修(年1回) ・業務マニュアルの点検・改善(年1回) | | <p>「コンプライアンス」を意識している職員の割合:100%(平成27年度:98.8%)</p> <p>【撤退基準】 上記目標が80%以下であれば、事業手法を再構築する。</p> <p>前年度までの実績</p> <p>平成28年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部統制連絡会議の開催:2回(平成28年12月末現在)(平成27年度:4回) ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンスニュースの発行:2回(平成28年12月末現在)(平成27年度:4回) ・公金管理における点検とヒアリングの実施 |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | <p>①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③:撤退基準未達成</p> | <p>○:有効</p> <p>×:有効でないため取組を見直す</p> <p>ー:中間アウトカム未設定(未測定)</p> | |
| 自己評価 | 取組実績 | | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | <p>①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③:撤退基準未達成</p> | <p>○:有効</p> <p>×:有効でないため見直す</p> <p>ー:中間アウトカム未設定(未測定)</p> | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | | |